# 石垣島フィールド研究会

2009年9月5日~8日

#### テーマ

- (1)水産資源管理と自然再生
- ·水産資源管理と自然再生における行政内部の研究者の 知識生産と活用
- (2)レジデント型研究機関
- ・レジデント型研究機関における土着的知識・民俗技術・科学的知識の相互作用と流通
- (3) エコツーリズム
- ・エコツーリズムを活用した地域の持続可能な発展モデル におけるステークホルダーによる制度・知識の受容と活用

#### JST社会技術研究開発センター・「科学技術と社会の相互作用」 研究開発プロジェクト

## 地域主導型科学者コミュニティの創生

研究代表者:佐藤 哲

(長野大学環境ツーリズム学部)

問題:科学者が生産する環境問題に関する知識が、地域社会の問題解決に必ずしも有効に活用されていない

・・・ステークホルダーの科学リテラシーの不足?

普遍性を強調する科学者の研究スタイルが地域社会に固有の状況における問題解決に適していない

科学的知識生産が在来の意思決定システムや価値観、知識 体系と乖離

地域社会の固有性を踏まえた問題解決型の研究成果が科学者コミュニティの中で評価されない

(ここでいう科学者は、自然科学者、人文社会科学者の両方であり、職業的科学者だけでなく、科学的手法による知識生産を行う多様な人々を含む)

#### どのような関与者とどのような協働が必要か

# 協働の核としてのレジデント型研究機関

(たとえば兵庫県立コウノトリの郷公園、WWFサンゴ礁保護研究センター)

地域社会の中に定住して研究を行う研究者を擁する大学、 研究所などで、地域社会の課題の解決に役立つ領域融合的 研究を、研究機関の使命として明瞭に意識しているもの

訪問型の研究

大都市に研究と生活の基盤地、域社会の現場をフィールドとして研究 細分化された専門分野

限られた研究期間、外部者としてのコミットメント

レジデント型研究機関の研究者は、地域課題の固有性と総合性に対応 した問題解決型の知識生産に変容してきた。

- ・専門家として科学知を生産(継続的モニタリング)
- ・生活者として在来の文化・価値観を共有
- ・地域の未来に関与する当事者・ステークホルダー
- ・市民調査に科学的基盤を提供
- ・訪問型研究者、市民調査の実施者やステークホルダーとの協働

問題解決型の知識生産への変容の実態を把握する必要レジデント型研究機関が機能する要件を解明する必要

## 研究開発の目標 地域主導型科学者コミュニティの創生

- ・問題解決型の知識生産に向けた科学者コミュニティの変容の実態 を把握し、レジデント型研究機関が機能する要件を解明
- ・ステークホルダーとさまざまな研究主体の協働と相互作用の実態 を解明
- ・各地のレジデント型研究機関・多様な研究主体・ステークホル ダーが参加する「地域環境学ネットワーク」を形成
- ・科学者とステークホルダーの「協働のガイドライン」を策定し、問題解決型の研究のステークホルダーが参加する「評価システム」を成熟させる。ガイドラインと評価システムとが科学者コミュニティに受容され、普及する。

ステークホルダーと協働して環境問題の解決に役立つ実用的な知識を生産する科学者コミュニティを確立。

# 地域社会と協働する新しい科学者集団 ・・・レジデント型研究機関・・・

石垣島白保 WWFジャパン サンゴ礁保護研究センター







## 事例収集と協働体制の構築(1)

### 各地の潜在的なレジデント型研究機関

- ·AMSL阿嘉島臨界研究所
- ・奄美野生生物保護センター
- ・十日町市立里山科学館 越後松之山森の学校キョロロ
- ·矢作川研究所
- ·金沢大学能登半島里山里海自然学校
- ・釧路湿原野生生物保護センター

### 訪問型研究者と地域社会の協働

- ·福島県天栄村EIMYプロジェクト(東北大学 新妻弘明)
- ·佐賀県鹿島市フォーラム鹿島(WWFジャパン 前川聡)
- ・里海創生社会システムの構築(九州大学 柳哲雄)
- ・佐賀県松浦川アザメの瀬(九州大学 島谷幸宏)

## 「地域環境学ネットワーク」の構造

多様な手法による重層 的な評価システムを試 行・改善

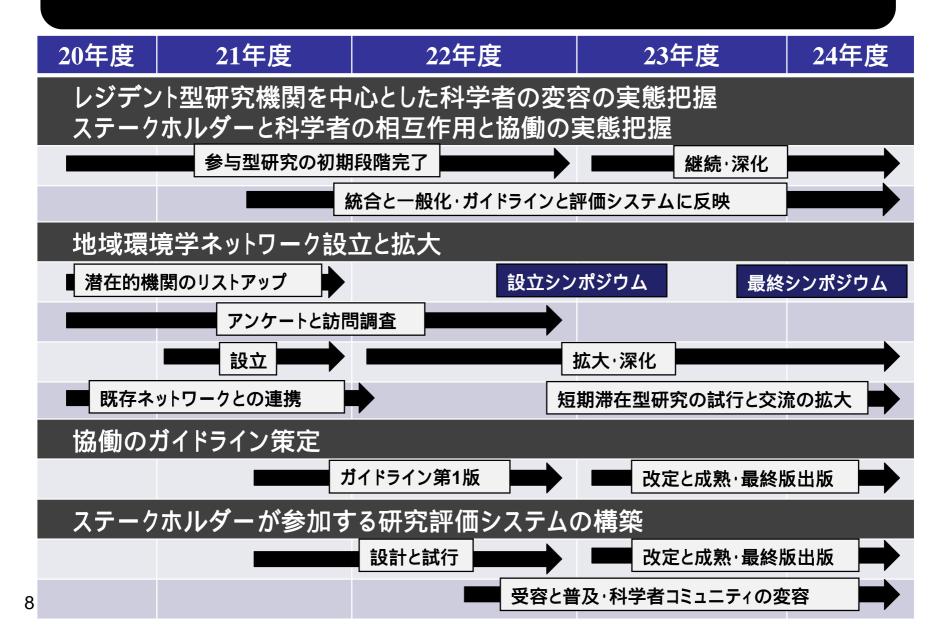
問題解決型研究の評価システム

ステークホルダーと科学者の 協働のガイドライン

地域環境学ネットワーク 地域で活動する 多様なネットワーク 個別課題に関するネットワーク 地域で活動する 多様なネットワーク

- ・レジデント型研究機関、ステークホルダー、訪問型研究者、市民調査の実施主体、地域企業、行政内部の研究者などが参加
- ・科学者コミュニティの総体としての問題解決型への変容を促す

# スケジュールとマイルストーン



### 研究会の主な論点

地域環境学ネットワークにおけるレジデント型研究 機関の役割の整理

科学者・ステークホルダー・行政などの多様な主体による自らの役割の正当性(レジティマシー)の獲得と問い直し

地域社会の中の多様な主体のネットワークの生成 とダイナミックな変容

## プロジェクトの今後の展開

地域環境学ネットワークの設立(2010年2月)

- ・発起人・賛同者のリストアップ
- ・目的と理念の確立
- ・規約・組織の整備
- ・設立シンポジウム(2010年度後半)に向けた準備

協働のガイドラインの策定に向けて

- ・主要な論点と基本構造の整理
- ・ドラフト作成
- ・地域環境学ネットワークにおける議論とブラッシュアップ

地域環境学ネットワーク設立準備ワークショップ

- ·2010年1月·東京
- ·小規模·実務的なWriting Workshop

# プログラム(9月5日)

9月5日 14時30分 石垣空港集合、車両にて環境省サンゴ礁 モニタリングセンターに移動

研究会(1)水産資源管理と自然再生

15:00~15:30 石垣フィールド研究会のねらい・ロジスティックス(佐藤哲)

15:30~16:30 サンゴ礁保全・再生への取組(サンゴ移植を中心に)(鹿熊信一郎)

16:30~17:30 八重山サンゴ礁海域の水産資源の現状と管理の取り組み(太田格·沖縄県水産海洋研究センター)

17:30~19:00 議論

19:30~ 懇親会

# プログラム(9月6日)

#### 9月6日

- 8:00ホテル発 車両にて白保へ移動
- 8:30~10:30 白保サンゴ礁スノーケリング観察
- 10:30~12:00 WWFサンゴ礁保護研究センター·白保日曜市 見学
- 13:00~15:30 カヌー·エコツーリズム視察(有限会社石垣島 観光·吹通川)
- 16:00~18:00 白保魚湧〈海保全協議会との交流(WWFサンゴ礁保護研究センター・話題提供者・上村+魚湧〈海保全協議会メンバー)
- 18:00~20:00 白保郷土料理試食と地域のステークホルダー

との交流

# プログラム(9月7日午前)

8:00民宿発 沖縄県水産海洋研究センター視察

川平湾サンゴ礁視察(まりんはうす・ぐるくん) 新石垣空港建設地・白保の海垣視察

研究会(2)レジデント型研究機関(WWFサンゴ礁保護研究センター)

10:30~11:30 レジティマシー(正当性)概念とレジデント型研究機関(牧野厚志)

11:30~12:00 議論

13:00~14:00 レジデント型研究機関おける在来知の収集と地域における活用・・・白保今昔展・郷土料理研究会・海垣の再生(上村真仁)

14:00~15:00 知識ユーザーとしての地域社会を意識したサ<sub>13</sub> ンゴ礁研究(佐川鉄平・WWFサンゴ礁保護研究センター)

# プログラム(9月7日午後)

13:00~14:00 レジデント型研究機関おける在来知の収集と地域における活用・・・白保今昔展・郷土料理研究会・海垣の再生(上村真仁)

14:00~15:00 知識ユーザーとしての地域社会を意識したサンゴ礁研究(佐川鉄平·WWFサンゴ礁保護研究センター)

15:00~15:15 休憩

15:15~16:15 レジデント型研究機関による地域環境情報の集積と発信・・・キョロロと長野大学の取組(三上光一・長野大学)

16:15~17:15 地域内ネットワークのハブとしてのレジデント型研究機関·研究者(清水万由子)

17:15~18:30 討論

# プログラム(9月8日午前)

研究会(3)エコツーリズム(WWFサンゴ礁保護研究センター)

8:00~8:15 セッションの狙いと講演者の紹介(家中茂)

8:10~9:10 慶良間諸島の海洋保護区管理とサンゴ礁研究・・・AMSLにおける基礎研究とモニタリング(谷口洋基・AMSL阿嘉島臨海研究所)

9:10~10:15 慶良間諸島サンゴ礁の保全と活用・・・エコツーリズム推進法の役割(垣花薫)

10:15~10:30 休憩

10:30~11:00 石垣島におけるエコツーリズムの新しい展開(成底正好·有限会社石垣島観光)

11:00~11:30 総括・・・エコツーリズムに見る社会関係の中の自然資源利用と知識の流通(家中茂)

11:30~13:30 昼食と議論

航空機に合わせて三々五々解散

# ロジスティックス

宿泊: 9月5日 市内ホテル

9月6~7日 民宿たあづぐやー(0980-86-8440)

9月5日懇親会: 海人居酒屋源、新栄店

9月6日フィールド調査(車両で移動)

スノーケリング観察: 8時30分 白保観光サービス

吹通川カヌーエコツーリズム: 13時30分 吹通川観光

白保魚湧〈海保全上気がいとの交流会: 16時 白保公民館

9月7日沖縄県水産海洋研究センター視察・川平湾サンゴ礁視察8時 民宿発・まりんはうす・ぐるくん